

## 平成26年度 当初予算主な事業

事業名	防災備蓄品等の充実		
予算額	15,876 千円	新規・拡充 継続の別	拡充
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">災害時に避難所で一定の生活が送れるよう防災備蓄品を充実させることを目的とする。 また、国の指針等により、避難所外の避難者にも避難所と同様の物資等を提供を行えるよう順次、備蓄数を大幅に引き上げます。</p> <p>○ 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に設置する避難所 田辺小学校、大住小学校、三山木小学校、田辺高校及び同志社国際高校</li> <li>・配備する備蓄品 毛布、トイレ用品、間仕切り、発電機、授乳着替え TENT、LED投光器セット、ロール畳など。</li> </ul>		
担当所属名	安心まちづくり室	直通電話番号	64 - 1307

## 平成26年度 当初予算主な事業

事業名	防災無線半固定器追加新設（福祉避難所）		
予算額	4,320 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">平成25年度中に締結した福祉避難所協定に基づき、避難所となる福祉施設に通信設備を整備します。</p> <p>○ 事業概要</p> <p style="padding-left: 20px;">市内3カ所の特別養護老人ホーム（九十九園、セピアの園、つつきの郷）の福祉避難所に地域防災無線を整備します。</p>		
担当所属名	安心まちづくり室	直通電話番号	64 - 1307

## 平成26年度 当初予算主な事業

事業名	防災気象情報提供業務		
予算額	2,160 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>台風や集中豪雨の際に必要な気象データを、より精度の高い民間気象会社から入手し、市のホームページ上でエリア情報、警報や地震などの防災気象情報を配信して住民の情報収集力を強化します。 また、災害警戒（対策）本部設置の事前予測や適切な体制配備に役立てます。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>自治体向け有料サービスの契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主避難促進対応策サービス 京田辺市ホームページ上で防災情報を掲示し、市民の防災情報収集の一助とする。</li> <li>・ 都市型水害・水防対応策サービス 行政に対して事前の体制構築、時中の的確な意思決定のもととなるデータの提供</li> <li>・ 減災プロジェクト</li> </ul>		
担当所属名	安心まちづくり室	直通電話番号	64 - 1307

## 平成26年度 当初予算主な事業

事業名	避難所機能強化事業		
予算額	15,122 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的及び事業概要</p> <p>1 避難所運営マニュアル策定（10,000千円） 東日本大震災以降、「避難所運営」に関する課題がクローズアップされています。 南海トラフによる巨大地震等発生が予測されていることから、避難所に対しての市民の関心度が高く、災害の内容や規模に応じて、臨機応変に誰でも避難所を立ち上げられるよう、避難所運営の基本や開設手順、運営ポイントなどをまとめたマニュアルを作成します。</p> <p>2 避難所運営訓練(300千円) 訓練の有効性と重要性が認められている「住民参加型」の避難所運営訓練を市民や災害ボランティアと共同で実施します。</p> <p>3 避難所アンテナ設置（4,822千円） 防災無線による災害情報をより確実に避難所に伝達するため、各避難所となっている小・中学校の体育館にアンテナを設置し、安定した通信環境を整備します。</p>		
担当所属名	安心まちづくり室	直通電話番号	64 - 1307

## 平成26年度 当初予算主な事業

事業名	地域版防災マップ（水害）作成事業		
予算額	4,000 千円	新規・拡充 継続の別	継続
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>きめ細やかな地域版防災マップを作成することにより、住民自らが危険箇所の存在を知り、避難ルートを設定するなど、地域住民の防災意識を高めるとともに地域防災力を高める。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>木津川左岸地域を対象とした地域版防災マップ（水害）の作成過程で多くの市民が参画して、相互に防災意識を高めるとともに、自らの避難について自助・共助の観点から検討を加え、地域の防災マップを作成していただく。（平成26年度対象、薪区及び西八区）</p> <p>（作成手順）</p> <p>第1回目 地域住民が中心となって机上で危険箇所や避難ルート、避難場所等の検討を行う。</p> <p>第2回目 現場を実地踏査により検証し、マップ作成となる原図の作成を行う。</p> <p>第3回目 マップの完成と地域での決めごとや避難の判断基準について決定する。</p>		
担当所属名	安心まちづくり室	直通電話番号	64 - 1307